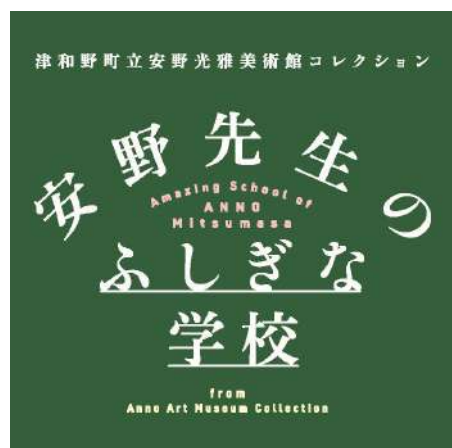




「ふしぎな学校」『はじめてであううがくの絵本1』より 1982年
©空想工房 画像提供: 津和野町立安野光雅美術館

絵本をはじめ、装丁デザインや文筆の仕事でも豊かな才能を発揮した、安野光雅(1926-2020)。
そのユニークな作品づくりの根底には、小学校の教師を務めた経験がありました。
本展は、安野の作品を学校の授業科目に見立てた構成で紹介する、ユニークな展覧会です。

展覧会名 津和野町立安野光雅美術館コレクション 安野先生のふしぎな学校

会 期 2025年9月13日(土)から11月16日(日)

休 館 日 月曜日 *ただし9月15日(月・祝)、10月13日(月・祝)、11月3日(月・祝)は開館、9月16日(火)、
10月14日(火)、11月4日(火)は休館。

展覧会概要 pp.2~4 / イベント p.5 / 広報用画像 p.6

*本プレスリリースはオンラインでもご覧いただけます。広報用画像のダウンロードも、こちらから。
<https://www.artpr.jp/ibarakikinbi/annomitsumasa2025>



《問い合わせ先》

茨城県近代美術館 担当学芸員: 吉田 広報担当: 加藤 イベント担当: 藤崎
〒310-0851 茨城県水戸市千波町東久保 666-1 Tel: 029-243-5111 Fax: 029-243-9992
E-mail: fukyu-pub@modernart.museum.ibk.ed.jp

1 展覧会名

津和野町立安野光雅美術館コレクション 安野先生のふしぎな学校

2 主催等

主 催 茨城県近代美術館
協 賛 株式会社常陽銀行
後 援 水戸市／朝日新聞水戸総局／茨城新聞社／NHK 水戸放送局／産経新聞社水戸支局
東京新聞つくば支局／日本経済新聞社水戸支局／毎日新聞水戸支局／読売新聞水戸支局
LuckyFM 茨城放送
企画協力 津和野町立安野光雅美術館／株式会社アートワン

本展はパートナー企業からの支援を受けています

株式会社常陽銀行／関彰商事株式会社／ザ・ヒロサワ・シティ／株式会社アダストリア／茨城トヨタ自動車株式会社
茨城県近代美術館友の会／関東鉄道株式会社／イオンモール株式会社／茨城交通株式会社／茨城県信用組合／茨城トヨペット株式会社
学校法人リリー文化学園／沼尻産業株式会社／水戸ヤクルト販売株式会社／株式会社 LuckyFM 茨城放送

3 会期

2025(令和7)年9月13日(土)～11月16日(日)

休館日:月曜日

*ただし9月15日(月・祝)、10月13日(月・祝)、11月3日(月・祝)は開館、

9月16日(火)、10月14日(火)、11月4日(火)は休館。

開館時間:午前9時30分～午後5時(入場は午後4時30分まで)

4 会場

茨城県近代美術館

5 入館料

一般 1,240(1,130)円／満 70 歳以上 620(560)円／高校生 980(820)円／小中生 550(420)円

※()内は 20 名以上の団体料金

※障害者手帳等をご持参の方は無料

※9月15日(月・祝)、17日(水)～21日(日)は満 70 才以上の方は無料

※11月13日(木)は茨城県民の日のためすべての方が無料

6 展覧会概要

絵本をはじめ、装丁デザインや文筆の仕事でも豊かな才能を発揮した、画家・安野光雅(1926-2020)。中でも子どもから大人まで多くの人を魅了してきた絵本作品は、心がワクワクするような創意に富んでいます。そのような安野の絵本観には、自然豊かな島根県津和野の地で過ごした少年時代の遊び心、さらには終戦直後の一時期に小学校の教師を務めた経験が影響していることでしょう。「小学校時代の勉強が一生を左右する」と考えた安野は、興味を抱いて自分でやってみようとする気持ちを大切にしました。そして初のヨーロッパ旅行で、勉強することは「インポート」ではなく「インタレスト」だとする言葉に出会ったことで、安野の生涯続いた独学人生がはじまりました。本展は、「安野先生」の作品を学校の授業科目に見立てた構成で紹介するユニークな展覧会です。細部まで描き込まれた作品をじっくり楽しみながら、「インタレスト」の種を探してみましよう。

【安野光雅 略歴】

1926年3月20日、島根県鹿足郡津和野町に生まれる。1944年、宇部工業学校卒業。1945年、召集され陸軍船舶兵として香川県に赴くが同年中に終戦を迎え復員する。1948年、代用教員として徳山市立加見小学校に勤務。1950年、玉川学園勤務のため上京。その後、武蔵野市立第四小学校に勤務。また、美術、図画工作の教科書編集等に従事。1961年、装丁や出版社関連の仕事の増加により教師を辞め、画家として独立。2001年、津和野町立安野光雅美術館開館。2020年12月24日、永眠。

絵本、装丁、エッセイなど幅広いジャンルで活躍し、シカゴトリビュン・オナー賞(アメリカ)、ブルックリン美術館賞(アメリカ)、芸術選奨文部大臣新人賞、最も美しい50冊の本賞(アメリカ)、ブラティスラヴァ世界絵本原画展金のりんご賞(スロバキア)、ボローニャ国際児童図書展グラフィック大賞(イタリア)、国際アンデルセン賞画家賞など、受賞多数。

7 広報文

【広報文1】(約70字)

絵本のほか、装丁デザインや文筆等の仕事でも豊かな才能を発揮した、画家・安野光雅。その作品を、学校の授業科目に見立てた章構成で紹介しします。

【広報文2】(約85字)

絵本のほか、装丁デザインや文筆の仕事でも豊かな才能を発揮した、画家・安野光雅。本展では絵本の原画を中心に、その作品約150点を、学校の授業科目に見立てた章構成で紹介しします。

【広報文3】(120字)

絵本のほか、装丁デザインや文筆の仕事でも豊かな才能を発揮した、画家・安野光雅。本展では、終戦直後の一時期に小学校の教師を務めた、安野先生の作品約150点を、学校の授業科目に見立てた章構成で紹介しします。細部まで描き込まれた美しい原画の数々にご注目ください。

8 展示構成

プロローグ 「合い言葉はインタレスト」		
朝の会 「先生の出発点」		
1 時間目	こくご	安野流 創作ものがたり
2 時間目	さんすう	眼で見て楽しみ 考えて学ぶ
3 時間目	ずこう・おんがく	生き生きとしたデッサン、幼少に口ずさんだ歌
4 時間目	しゃかい	安野流 ふしぎな世界の旅
5 時間目	りか	難しいことを分かりやすく描いた安野ワールド
6 時間目	えいご	苦手な英語を楽しく興味をもつきっかけに
終わりの会		
自由研究		

9 見どころ

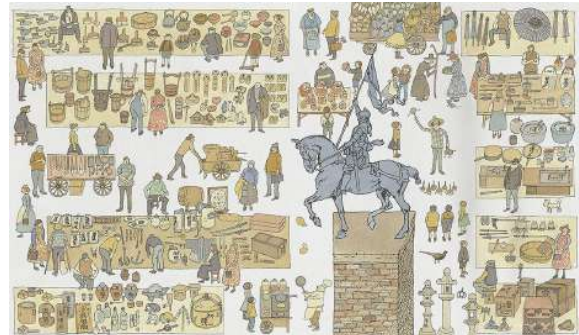
(1) 遊び心にあふれた世界—細部まで描き込まれた絵を、読み解く楽しみ。

森の中に息づく動物たちを、見つけてみよう。



『もりのえほん』より 1977年
*本図にはワニ、カワウなどが、隠れています。

多くの人で賑わう蚤の市には、風変わりな物や人の姿も。

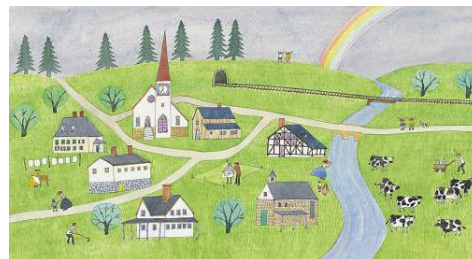


『蚤の市』より 1983年

(2) 世の中の仕組みを絵本に

小さな子どもにも理解できる、算数の絵本。

数字の仕組みを、水彩による美しいイラストで表した。背景に描かれているのは、移りゆく季節。



(左)「1」
(右)「7」
『かぞえてみよう』より
1975年

何かと何かが、くっついた！



世の中の便利なもの、実はこうやってできた？



(左右とも)
「ふしぎなおり」
『はじめてであうすうがくの絵本 1』より
1982年

(3) 世界を旅する安野先生

世界を旅した安野先生が、水彩画や日本画の技法で描いた、美しい風景。



「うつくしき・アマリリス」
『歌の絵本Ⅱ—世界の唱歌より—』より
1979年



「もみじ」
『歌の絵本—日本の唱歌より—』より 1977年



「熊本県・阿蘇 根子岳」
『原風景のなかへ』より
2013年

10 会期中のイベント等

(1)講演会「安野光雅の世界」

講 師 大矢 鞆音(おおや・ともね)氏 [津和野町立安野光雅美術館館長]
 日 時 9月13日(土) 14:00~15:30
 会 場 地階講堂
 定 員 250名(参加無料、申込不要)

(2)展覧会鑑賞+切り絵ワークショップ(小学4年生以上) 要申込

安野作品の切り絵に挑戦！
 日 時 10月11日(土) 13:30~15:30
 会 場 企画展示室及び地階講座室
 定 員 35名
 参加費 1人50円(行事保険加入料) *当日の企画展入場券が必要
 申込方法 ①当館総合受付にて申込書を記入 ②専用フォーム(右)から申込み
 *8月27日(水)9:00より受付開始



イベント詳細

(3)展覧会鑑賞プログラム「家族でわくわく てんらんかい」 要申込

当館スタッフとお話しながら展覧会場をめぐるります。
 日 時 9月27日(土)
 ①幼児+保護者 10:30~11:30 ②小学生+保護者 14:00~15:00
 会 場 企画展示室など
 定 員 各回15名程度
 *当日の企画展入場券が必要
 *8月27日(水)9:00より受付開始



イベント詳細

(4)アートフォーラム「あつまれ！きんび小学校」

なつかしの小学校が体験できるフリースペース。
 巨大マグネットのパズルあそびが楽しめる「図工室」や、絵本が読める「図書室」などのコーナーも。
 会 場 1階アートフォーラムコーナー
 入 場 無料

※会期および各種イベント等が変更または中止になる場合があります。

当館 Web サイトでご確認いただくか、当館までお問い合わせください。

当館 Web サイト



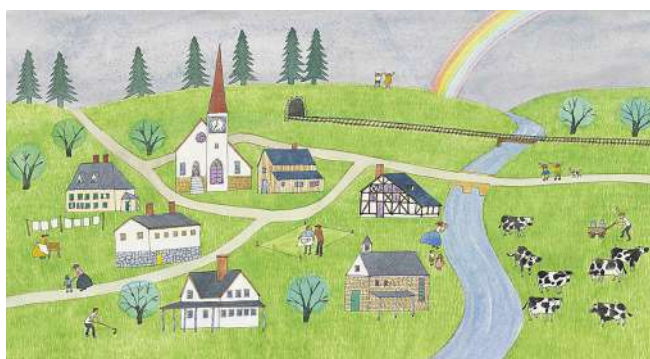
広報用画像

- ・このページに掲載された作品は、本展覧会の広報目的の場合にのみ掲載可能です。
- ・画像のトリミング・文字のせはお控えください。
- ・二次利用が無きようご利用後のデータ廃棄等、画像の取り扱いには十分ご注意ください。
- ・画像掲載の際には、当館までご一報ください。

- 1 「7」『かぞえてみよう』より 1975 年
- 2 「あ」『あいうえおの本』より 1976 年
- 3 『もりのえほん』より 1977 年
- 4 「もみじ」『歌の絵本—日本の唱歌より—』より 1977 年
- 5 「ふしぎなり」『はじめてであうすうがくの絵本 1』より 1982 年
- 6 『蚤の市』より 1983 年

※図版掲載の際は、以下のクレジットを記載ください。

©空想工房 画像提供:津和野町立安野光雅美術館



1



2



3



4



5



6